

ニュースレター



NPO法人

あきたパートナーシップ

Vol. 75

発行日 2010. 2. 15

編集 NPO法人

あきたパートナーシップ事務局

連絡先 TEL 080-5566-6238

FAX 018-829-5803

「梅 2月 光は風と ともにあり（西島麦南）」西島麦南は飯田蛇笏の門下。立春も過ぎ、雨水の頃となりました。秋田ではまだまだ寒い日もありますが、ようやく水もぬるみ、春の気配に心が軽くなるようです。

第5回患者塾

テーマ「病気の予防について～こころの健康法あれこれ～」

話題提供：さいとう神経科クリニック院長齊藤征司先生、
寺田内科医院院長寺田俊夫先生



「第5回患者塾」の様子

1月31日（日）「第5回患者塾」を遊学舎において、開催しました。

齊藤征司先生からは心に悪い作用をする「視野狭窄」「怒り」、良い作用をする「好奇心」「任せる心」について感動的な事例を交えたお話をいただきました。質問コーナーでは「うつ病」についての質問が多く寄せられ、齊藤先生のお答えは、患者さんや支える家族にとっても大きな励みになる内容となりました。テーマ以外の質問には寺田先生がお答えくださり、疑問や不安など思ったことは何でも主治医に話した方が良いというアドバイスをくださいました。

企業と市民活動団体との協働を考える

1月29日（金）午後2時から県の委託事業である「企業とNPOの協働実現のためのワークショップ」を行いました。企業側からはマックスバリュ東北(株)、市民活動団体側からは3団体が参加しました。

なごやかな雰囲気の中で、どのような形で協働ができるかをワークショップ形式で話し合いました。



なごやかに意見交換をしています

成功例に学ぶコミュニティビジネス (CB)

2月13日(土) 遊学舎において「あきたコミュニティビジネスセミナー2010」(東北ソーシャルビジネス推進協議会主催)が開催されました。このセミナー開催についてあきたパートナーシップもお手伝いをしました。

ゲストに青森県 NPO 法人 NPO 推進青森会議の三上亨氏、秋田県副知事 中野節氏、岩手県の NPO 法人「もりおか配食サービス」理事長 川島京子氏をお呼びしました。参加者は約 60 人でした。



会議棟での CB セミナーの様子です。

ボランティア・NPO 支援講座Ⅱ「スグ! 役立つ“体験型”ファシリテーター講座」



講師の新田英理子氏です



各グループの発表を全員で聞きました。

2月14日(日) 午後1時より、遊学舎で「スグ! 役立つ“体験型”ファシリテーター講座」が開催されました。参加者は38名、当法人の研修も兼ねており、職員13名が参加しました。

講師に NPO 法人日本 NPO センターの 新田英理子氏をお迎えし、「協働がつくるまちづくり」をテーマにファシリテーションの手法をグループに分かれて学びました。各グループとも活発に意見が出され、いろいろな見方や思いがあることが分かり、講座のニーズを感じました。また、中間支援という立場にある職員のスキルアップや参加者の交流の場となりました。

これからの自主事業

IT 相談会 (市民活動に携わっている方対象) 分からないところだけを相談できます。	2月20日(土) 14:00~17:00	遊学舎 研修室3
コミュニティビジネス講座 事例発表: 畑沢貴美子氏 (コミュニティ菓子工房 KIMIKO 代表) 浅利博樹氏 (NPO 法人秋田県北 NPO 支援センターコミュニティビジネス支援員)	3月14日(日) 13:30~16:00 参加費 500 円	遊学舎 研修室4

お知らせ

マックスバリュ広面店より、毎月11日に行われている「幸せの黄色いレシートキャンペーン」から1,952円いただきました。来店者が応援する NPO を選んでレシートを投入した結果です。活動費に使わせていただきます。